

令和3年 5月 11 日

報道機関 各位

佐渡市関連事業のお知らせ(プレスリリース)

日頃、佐渡市に関わる報道へのご協力ありがとうございます。

下記の授与式を行いますので、お知らせします。

記

タイトル	「ベスト消費者サポーター章」の授与式を行います
概要	消費者庁選定による、令和3年度消費者支援功労者表彰「ベスト消費者サポーター章」の授与式です。消費者庁から送付された賞状および副賞(メダル)を、佐渡市長から受賞団体 <small>さど ししょうひしゃきょうかい りょうつちく</small> 佐渡市消費者協会 両津地区へ授与します。
日時	令和3年5月24日(月) 10:00~10:30
会場	佐渡市役所 市長応接室
出席者	佐渡市消費者協会両津地区会員 約10人
特記事項	受賞した佐渡市消費者協会両津地区の概要と、消費者庁の「消費者支援功労者表彰」については、別添の資料をご参照ください。
担当	市民生活課 消費者行政係 担当者名 中濱 智子
連絡先	佐渡市消費生活センター TEL0259-57-8143 FAX0259-52-6024

送信元：佐渡市総務課広報戦略室
広報広聴係

T e l : 0259-63-5139

F a x : 0259-63-3300

佐渡市消費者協会両津地区 概要（消費者庁ベスト消費者サポーター章受賞にあたり）

- ・昭和45年3月、県内5番目の地区消費者協会として発足。当時の会員数45名。
- ・発足当初から、時代に対応した活動と会員の研修に力を入れ、受賞多数（下記）。
- ・令和2年に設立50周年を迎え、記念誌「2020年 設立50周年記念誌 この10年のあゆみ」を発行（令和2年3月26日）。
- ・令和3年度の会員数は92名。
- ・佐渡市消費者協会（H19年発足）の会員数推移
H19年 481名（うち両津地区192名）
R3年 195名（うち両津地区 92名） 人口減や会員の高齢化に伴い、毎年減少。

受賞歴

- 新潟県環境賞 H11 ●（財）省エネルギーセンター 環境優秀賞 H12
- 佐渡環境大賞 H23 ●佐渡市環境賞グランプリ 2017 優秀賞
- 消費者庁 ベスト消費者サポーター章 R3

主な活動

1 手作りマイバッグ持参運動

循環型社会構築のため平成7年頃からマイバッグを手作りして会員に配布
→H16年から連年、市長との対話集会でレジ袋有料化とマイバッグ持参推進について陳情
→H19年4月佐渡市が全国に先駆け「レジ袋ゼロ運動」を展開
現在もマイバック持参の出口調査やレジ袋辞退の目視調査を実施

2 寸劇で詐欺被害防止活動

H11年から詐欺被害防止に向けた寸劇を市内各地で公演 サドテレビで放送も
長年、被害防止を呼びかけたことに対し佐渡東警察署から感謝状（H30年）

3 リョウツ・デ・フリマに参加

EM 廃油石けん PR、マイバッグ普及、3R キャンペーンアンケートなど

4 視察研修

島内・島外の消費生活に関連する事業所や工場、農場等の見学

5 講演会

講師を招き、消費生活や環境問題に関する講演を開催
講演での学び、気づきを消費者協会の活動につなげる

6 両津埠頭周辺に花プランター設置

H18年から佐渡を訪れる人や地域の人に喜んでもらうため設置
当番制で花の水やり年10回以上

7 EM 廃油石けん作り

廃油を活用し、汚れがきれいに落ちる石けんづくり
EM 石けんを使った排水は川・海の汚染を減らす効果

8 リフォーム教室 年4～5回

古着や和服、牛乳パックやチラシを活用した作品づくり

9 エコクッキング教室 年1回

食材の捨てている部分や、余った食材を利用した料理を学ぶ

以上

消費者庁「消費者支援功労者表彰」の概要

表彰について（消費者庁のホームページより）

- ・ **別紙1** 被表彰者、経緯、推薦・選定・決定等についてまとめた資料

佐渡市消費者協会両津地区が受賞したのは「ベスト消費者サポーター章」。
新潟県消費者協会からの推薦により、受賞につながった。

推薦理由は**別紙2**「主な活動実績」のとおり。

過去の受賞者（消費者庁のホームページに掲載）

- ・ 今回、佐渡市消費者協会両津地区が受賞することとなった「ベスト消費者サポーター章」は毎年、全国で40件ほど受賞している。R3年度は34件（うち、団体での受賞は5件別紙2）。
- ・ 個人での受賞は、ほとんどが消費生活センターの相談員を長く務められた方。
- ・ 団体での受賞は、「消費者協会」または「生活協同組合」や「学校」が対象。
- ・ 県内では、令和元年度に「柏崎市消費者協会」と「長岡市消費者協会」が同章を受賞。

ベスト消費者サポーター章（平成30年度～令和3年度）※全国での件数

年度	個人	団体
平成30年度	34	14
令和元年度	34	10
令和2年度	30	10
令和3年度	29	5

以上

消費者支援功労者表彰について

別紙 1

- 消費者利益の擁護・増進のために各方面で活躍されている方々を表彰する制度
- 消費者支援活動の一層の奨励

被表彰者

●内閣総理大臣表彰

極めて顕著な功績があったと認められる個人・団体へ表彰状及び記念品を授与

●内閣府特命担当大臣表彰

特に顕著な功績があったと認められる個人・団体へ表彰状及び記念品を授与

●ベスト消費者サポーター章

顕著な功績があったと認められる個人・団体へ記念品を授与し、書状を交付

※特別枠として年齢が99歳以下の個人・団体を対象とした青年部門もある。

経緯

昭和60年 経済企画庁長官による表彰を開始
平成13年 中央省庁再編に伴い、内閣府特命担当大臣による表彰を開始

平成23年 消費者庁設立に伴い、新スキームによる表彰を開始

- ・内閣府特命担当大臣表彰に加え、内閣総理大臣表彰、ベスト消費者サポーター章を設立
- ・個人だけでなく、団体も表彰対象に追加

推薦・選定・決定

- 関係府省庁、都道府県、政令指定都市、独立行政法人国民生活センター及び広域的な活動を行う消費生活関係団体が個人又は団体・グループを推薦
- 消費者支援功労者選定会議において、適正に審査を行い、被表彰者等の案を作成し、それに基づき、被表彰者等が決定される

表彰式

- 毎年、5月の「消費者月間」事業の一環として実施
- 平成23年度に、内閣総理大臣表彰を設立以来、内閣総理大臣表彰、内閣府特命担当大臣表彰は東京にて執り行っている
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止
- ベスト消費者サポーター章は、都道府県が実施する消費者月間イベント等にて授与

消費者支援活動(例)

～あなたの周りに、例えばこのようなことに熱心に取り組んでおられる方々はいませんか～

- 消費生活に関わる相談対応、消費者が組織する団体等の活動
- 消費者被害防止や安全確保、意識啓発のための活動
- 地域における消費者への出前講座や普及啓発活動
- 学校等における研究・教育、公的機関の委員会等における活動
- 様々な現場における、消費者に真摯に向き合った活動

このような活動があなたの生活を支えています！

受賞者の声

- 毎年、受賞者の方から多くの喜びの声が寄せられています。その声を別紙にまとめました！これから活動を始めの方など、是非参考にしてください。

令和3年度 ベスト消費者サポーター賞

(2) 団体(5件)

(敬称略)

名称	住所	主な活動実績
特定非営利活動法人あわ・みらい創生社	徳島県阿波市	・「素敵な未来を創る」をビジョンとし、阿波市が元気になる地域活動のコーディネーターやプロデューサーとして活動し、市民が安心して暮らせる町づくりに貢献。 ・「子どもたちの素敵で楽しいまちづくりプロジェクト」では、県道沿いの空き地にベンチと花壇のある休憩所を作り、地元の人々が集える憩いの場などを創出。
佐渡市消費者協会 高津地区	新潟県佐渡市	・消費者市民社会を目指して、講演会、環境活動、自然環境の保全、集団資源回収活動、料理・古布リフォーム教室、食品ロスの削減、島内外の視察研修、消費生活に関する啓発講座等を展開。 ・消費生活に関連する事業所や健康に関する知識を学ぶ視察研修を実施。 ・特殊詐欺被害の増加を受け、平成12年より寸断を受けた警察講座を行い、消費者被害の防止に尽力。
鳥取県生活協同組合	鳥取県鳥取市	・安全・安心な地域づくりに取り組み、鳥取県内の全市区町村と災害時物資協定、地域見守り協定を締結。 ・食品ロスの削減のために、フードサポーターやフードドライブを実施。 ・食育の取組として「たべるといせつキッズクラブ」を開催したほか、「エシカル消費の普及の取組として、「コープのエシカルフェスタ2019」を開催し、エシカル消費につながる商品の紹介や試食提供を実施。
生活協同組合パルシステム山梨	山梨県甲府市	・食品ロスを減らすため、フードドライブとして、年2回、組合員から食品を集め、フードバンク山梨等へ提供。 ・エシカル消費の普及啓発として、フェアトレードの学習会や組合員を対象としたワークショップなどを開催。 ・山梨県の見守りネットワーク構築の取組として、平成30年に「消費生活協力団体」の委託を受ける等、山梨県内における見守り活動や消費者安全などの普及啓発を展開。
福井県民生活協同組合	福井県福井市	・高齢者等の安全・安心のための見守りサービスへ取り組み、地域見守り活動協定を福井県内全市町村と締結。 ・食品ロス削減と社会貢献を目指し、平成28年からフードバンク活動を行い、社会福祉協議会や自立支援センター、児童養護施設、子ども食堂に取り組み団体へ食料を提供。 ・プラスチックごみ削減への取組として、平成19年から福井県内の食品スーパーマーケットで初となるレジ袋の有料化を実施。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

消費者庁ホームページ